

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和3年3月

事業所名：仙台市サンホーム

在籍保護者数 37名 回収数35枚 回収率 95%

必修項目	○	チェック項目	はい (%)	どちらともいえない (%)	いいえ (%)	わからない (%)	未記入	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	31 (88.6%)	2 (5.7%)	2 (5.7%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> 十分なスペースが確保されていると思う。 床が冷たい。(2名) 人数が増えると狭く感じる。 仕方のない事だと思うが子どもが動きまわるとは部屋のスペースが狭いと感じる。 お話しを聞く、制作活動をするには十分なスペースと思うが、体を動かしたり走り回るのは少し狭いかなと思う。 きょうだい児がない前なら大丈夫かなと思う。ただ、医療ケア児と動きまわる子どもが同じ空間にいると危険も感じる。人数が少ないから事故なく成り立っていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 定員1日30名のため1クラス10名Maxで3クラス編成である。母のほかに預け先のないきょうだい児も居ると保育室内の人口密度が高くなる。動きの大きな子どもたちが多くなる時間帯などのリスクもたかまるため、スタッフが細心の注意を払っている。より安全な療育活動のためには、園庭の活用頻度や増加など活動プログラムの工夫を実施していく。 床の冷えについては畳を敷くなど工夫しているが、仙台市に新型コロナウイルス感染予防の観点から少人数に分割し部屋を収めざるをえなかったため、スタッフの人員配置にも考慮した。保育士不足は他園と共通する問題であり、継続的な改善を継続している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	31 (88.6%)	4 (11.4%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> 3人につき1人の先生がつき手厚いと思う。専門性は先生の経験により個人差はあると思う。 人数が少なそう。忙しそうに見える。 先生に差があると思う。 作業療法士さんが足りていない。たくさん質問したいことがあるのでできない。 1人1人を良く見てもらえる環境だと思う。専門的なアドバイスをいただける。子どもの成長にプラスになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月から5月までは新型コロナウイルス感染症予防の観点から少人数に分割し部屋を収めざるをえなかったため、スタッフの人員配置にも考慮した。保育士不足は他園と共通する問題であり、継続的な改善を継続している。 限られた人員体制の中では、療育・支援スキル向上とチームアプローチに努め安全性を確保している。衝動性や活動性の高い児童については、フリー職員を加配し、特性に応じた個別課題の工夫やパートナーシップを活用した空間の分離などに取り組んでいる。 学生等のボランティア参加により教材作成等を担ってもらうことで保育士の療育外業務の軽減につながっている。 スタッフの人材教育については、年間通じての研修やチームアプローチにより専門性の向上と療育の質の担保に努めている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	33 (94.3%)	2 (5.7%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> 個人のマークがあったり、そのマークが椅子の裏に貼ってあったりと各個人の特性によって椅子が違っていたりしてわかりやすい環境だと感じる。 先生に差があると思う。 作業療法士さんが足りていない。たくさん質問したいことがあるのでできない。 1人1人を良く見てもらえる環境だと思う。専門的なアドバイスをいただける。子どもの成長にプラスになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の特性に応じた視覚的な教材（カードやスケジュールの提示）や空間の構造化などを取り入れ、わかりやすく、過ごしやすい環境の工夫に努めている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	34 (97.1%)	1 (2.9%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> とてもきれいで清潔な環境で過ごしやすい。(2名) いつもきれいで子どもが活動しやすい工夫がなされている。 雪が降った時は少し前寒い時があったが靴下を脱ぐとすぐにマットを敷いていただくなど配慮を頂きありがたかった。 冬は寒い。床がとても冷たいので裸足の子どもたちが寒そう。 	<ul style="list-style-type: none"> 療育開始前後に清掃、消毒を実施している。特に新型コロナウイルス感染症予防のために、接触するドアやテーブル、遊具や玩具などについては毎日アルコール消毒を実施している。 床冷えについては、1でお示しした内容に準じる。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ^Ⅱ が作成されているか	34 (97.1%)	1 (2.9%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> 先生方と細かいところまで話しあって作成し、とても助かった。 丁寧な計画を作成していただけてわかりやすかった。 担任・副担任と私の三人で面談の上、計画書が作成された。 子どもに合わせて取り組みやすいような計画になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> より適切なニーズや課題の把握やアセスメントのために、療育会議の中で職員の間で話し合い、経験値の違う職員の間でも意見を立てている。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供しき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	32 (91.4%)	1 (2.9%)	0 (0%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)	<ul style="list-style-type: none"> 項目ごとに具体的に支援内容が記載されている。 子どもに合った支援内容を考えてくださるのを感じている。具体的に何をどうしていいかが示されているので親の方も計画内容に取り組みやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人一人の特性に応じた支援の視点や項目を明記し、具体的な療育内容の提示を行っている。また、家庭での状況をあらかじめ把握して計画に盛り込み、半年前も経過を踏まえ継続性に配慮した内容を考慮している。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	32 (91.4%)	2 (5.7%)	0 (0%)	1 (2.9%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> 計画書の内容に補ったところを支援してもらっている。 計画に沿って支援が行われるため少しずつ成長していく姿がみられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画の進捗については、日々の療育後の振り返りを通して確認している。また、より詳細な分析を要する場合は個別支援を通して実施している。
	⑧	活動プログラム ^Ⅲ が固定化しないよう工夫されているか。	29 (82.9%)	5 (14.3%)	0 (0%)	1 (2.9%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> 多彩なプログラムで今日は何をするのかな？と楽しんでいる。 入園してまだ2か月のため、正直なところわからない。 コロナ禍において必要ないと思う。 コロナもあるため不組。 保育所見学では子どもへのサポートを具体的にみられて勉強になった。 幼稚園などと交流する機会を作ってほしい。 コロナ対策で実施していないと思う。 コロナの影響もあり、今年度までといった活動は難しかったのではないだろうか。 コロナがあるのでしかたないことだと思う。 コロナもあるので中々難しいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動のプログラムは、子どもの発達段階や特性を考慮し、個々のねらいを重視して組み立てられている。保護者勉強会では、発達と遊びの関連性、感覚統合の大切さ、遊びの種類と意義、自己肯定感を育む声掛けの重要性などを伝えている。同じ遊びをくり返し実施し成功体験や達成感を育む、ステップアップした内容でさらなる成長を引き出すなど成長過程に応じた活動内容を工夫している。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか。	5 (14.3%)	1 (2.9%)	16 (45.7%)	5 (14.3%)	8 (22.9%)	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍において必要ないと思う。 コロナもあるため不組。 保育所見学では子どもへのサポートを具体的にみられて勉強になった。 幼稚園などと交流する機会を作ってほしい。 コロナ対策で実施していないと思う。 コロナの影響もあり、今年度までといった活動は難しかったのではないだろうか。 コロナがあるのでしかたないことだと思う。 コロナもあるので中々難しいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣保育園との交流保育を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防のために実施することはできなかった。感染収束後に再度検討していきたい。
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34 (97.1%)	1 (2.9%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> 入園オリエンテーションの時に説明を受けた。 説明を受け利用できていた。 以前よりはよくなったかなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション当日の丁寧な説明を基本とするが、情報量が多いと混乱しやすい内容の受け止め方を確認しつつ、後日の補足説明も実施している。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	35 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> 担当の先生より計画書を示しながらの説明があった。 計画を示された上で、子どもも知っているものが、申していきたくところがあることを確認しながら支援内容の説明を丁寧に行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援内容については、子どもの特性や保護者の受け止め方に配慮しながら、具体的なかつわかりやすい説明を心がけている。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（おペアレント・トレーニング等）が行われているか	28 (80.0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (8.6%)	4 (11.4%)	<ul style="list-style-type: none"> 保護者向け勉強会が多く、育児や子どもの語り方など学んだ。 家族支援の内容も良く、子どもについてさらに考えたり、発見されたりするものだった。普段なかなかできないことをできるところが良いと思う。 勉強会欠席のためわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市主催のペアレントプログラム研修受講後の職員が「自己肯定感を育むこと」と題して保護者勉強会を実施している。次年度以降には受講済み職員も増加するため、系統的に実施していけるよう検討していきたい。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況、課題について共通の理解ができているか	32 (91.4%)	3 (8.6%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも話しあえて子どものその時々の成長や状態に適した接し方についてとても建設的な意見をいただいた。 ・担任の先生に困りごとや子どもの発達状況など随時相談させていただき、情報共有してもらっていると思う。 ・常に子どもの健康状態を聞いてくださるので共有理解できていると思う。 ・ちょっとした時間にお話しすることができ、共通の理解ができている。その中で取り組みやすい内容など提案もいただき、ありがたい。 ・なかなか先生とお話をする時間がなく伝えそびれてしまうことが多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の共通理解については、通常療育や面談時に丁寧なコミュニケーションを心がけている。おのおの保護者と関係性が良好ではあったが、業務の忙しさから保護者が理解しにくい状況を抱いていた場面もあったことから、フリー職員配置などより話しやすい雰囲気配慮していききたい。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33 (94.3%)	2 (5.7%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で困っていること、わからないことなど定期的に相談でき、それに沿った支援をしていただいている。 ・面談の時間は複数の保護者と話しあえるのでいろいろな見方をシェアできてとても貴重だった。 ・いつもアドバイスしていただき、相談もしやすかった。 ・定期的に開催されていると思う。 ・とても生き生きとした先生とすずな先生との差がある。 ・面談という改まった場だけでなくも良いので先生と話しができる時間を設けていただけたらと13のようなお話も聞かなくていい先生とすずな先生と一緒の先生もいるかとても親身になってくれる先生もいる。 ・面談以外にももう少し先生と話す場がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の療育の振り返りや随時の面談などを通して前向きな子育てへの支援を実践しているが、「手のからまない子」と後回しにされてしまった」と感じさせてしまったこともあり、より積極的な声掛けを心がけていきたい。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13 (37.1%)	6 (17.1%)	4 (11.4%)	7 (20.0%)	5 (14.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナの影響で活動らしいものはあまりなかったが、保護者同士の連携については支援していただいている。 ・コロナ対策等で今年は支援ができなかったと思う。 ・コロナのため、今回は不明。 ・コロナで活動が難しかったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防に配慮して親の会は中止したが、日々の親子分離タイム時に保護者同士の効果的な交流はできていた。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	33 (94.3%)	2 (5.7%)	0 (0%)	1 (2.9%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなことも先生方に相談しやすい体制になっている。また何かあればわかりやすく丁寧に対応をいただいている。 ・担任の先生以外の先生も子どもの様子やわかっていてくれていて感じているので園内での情報共有が周知され対応いただいていると思う。 ・責任者の対応をきちんとしてもらいたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠慮がちな保護者もいることから、保護者の困っている様子や表情、元気のいい声、行動などが見られた場合は積極的に声をかけて積極的に努めている。保育中にクラス担任が関わることが難しい場合は主任、副主任、園長などが別室で話しを聞くこともある。 ・即答が難しい相談内容については、クラス内や主任・副主任への報告・相談をし、回答内容を明確化して、あまり時間を置かず返答していききたい。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33 (94.3%)	2 (5.7%)	0 (0%)	1 (2.9%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと向き合っていたり、意思の疎通ができていた。 ・先生方が話しやすい雰囲気での遊びやプレイタイム後の合間に情報伝達を配慮いただいている。 ・以前よりは良くなったのかなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の不安や悩みについては時間をおかずに対応するよう努力している。情報提供については、保護者の理解しやすい伝達方法（メモ書きや参考図活用など）を工夫している。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	32 (91.4%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信は定期的に行っていた。 ・グループ（法人）会報誌を配付されたが、サンホームの活動内容もしっかり記載されていた。月ごとの活動内容もわかりやすいと思う。 ・ホームページは見えていないためわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の園だより、2か月に1回の保護者だより（子育て参考書の紹介含む）、年数回の法人会報誌を配付している。月のスケジュール（行事・遊びの種類と準備）については手渡し時に説明を加えて配布している。業務の自己評価については掲示やホームページで公開しているが、ホームページの存在を認識していない方もいるため公開時期も周知するようにしたい。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	32 (91.4%)	1 (2.9%)	0 (0%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・写真の掲載の権限等があり、十分に注意されていると思う。 ・十分注意されている中で支障となっていないので安心できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に個人情報の取り扱いに対する承諾書を作成しているほか、文集やアルバム作成時には再度同意書を記載してもらっている。 ・保護者による園活動時の写真撮影は遠慮してもらおうよう周知している。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか	30 (85.7%)	2 (5.7%)	0 (0%)	3 (8.6%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は感染症について一番大変だったと思う。しっかりと対策策定、実施を行っていただいているので安心して進んでいくことができた。 ・簡単な説明は受けた。 ・短い期間しか進んでいないので訓練をしているのかわからない。 ・各種マニュアルは教室の壁に貼って掲示されているのでしょろしょろと見られるようになった。 ・よくわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な避難訓練の開催、二次避難場所、地震や火災発生時の行動については、オリエンテーション時に具体的な避難経路図を提示して説明をしている。 ・町内会の災害時対応の会議に出席し、地味防災の役割や段取りを確認している。 ・12月以降の入園者においては周知が十分でなかったため、次年度以降はより丁寧な周知を心がけていきたい。
	21	非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	30 (85.7%)	3 (8.6%)	0 (0%)	2 (5.7%)	0 (0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練も定期的にあるためささいな時の役に立っていると思う。 ・思ったより訓練があり、しっかりといると思った。 ・先日避難訓練が行われており、子どもが防災頭巾を被ってしっかりとした訓練がされていた。 ・よくわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防の立ち合いによる総合訓練、児童館と合同の不審者対応訓練、感染症（ノロウイルス等）による嘔吐処理訓練などを計画・実施している。 ・職員全員が年1～2回子どもと大人の救急蘇生とAEDの操作訓練を実施している。 ・緊急時にAEDを借用できるように近隣機関と連携を密にし、方々の準備をしている。 ・災害時を想定し、災害用食品や飲料、防災用品などを準備している。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	29 (82.9%)	3 (8.6%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (8.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回とても楽しみにしている。（3名） ・子どもがやりたいといった遊びを出していたが、ありがたうございました。 ・「今日はいける？」と聞いてくるほど楽しみにしている。最近はOちゃんを何をするか、先生と何をしたいかまで自分から話すようになった。 ・休みの日でも行きたくらい楽しみにしている。 ・登園時に乱れることもあるが、到着すると楽しみにしている。自分の気持ちを言葉にできないので自分から話さなければいけません。 ・行けば楽しんでいるけれど楽しみにしているほどではない。 ・親子分離の時間がもっと欲しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい場所や人に慣れるのに時間を要する子どもたちであるため、その特性に配慮し、楽しく遊べる環境づくり、楽しさを共有するかわり、クラス担任との信頼関係の構築などを重視し、「楽しんできて、また来たい。」という意欲や動機を促すよう支援している。また、興味関心のある遊びを通して得意なことや苦手なことを保護者と共有して、わかりやすいツールを活用、工夫して見直しをもった遊びができるよう支援している。 ・母子分離については母子の愛着形成を軸とし、子どもの発達段階に応じたタイミングで実施していること丁寧に保護者に伝えていきたい。また、可能な範囲で母子分離の回数を増やしていきたい。
	23	サンホームの支援に満足しているか	30 (85.7%)	2 (5.7%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (8.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・私一人ではここまで苦手としていることや特徴に対する理解が上手くいきず、親子共に成長することができなかった。サンホームでの支援には感謝している。 ・とても満足している。ありがとうございました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おのおの満足感をもって通園していることから今後も丁寧な保護者の気持ちをもくみ取ったかわりを心がけていきたい。保護者からの葛藤を抱えて入園し、卒業時にわが子がありのままに受け入れ、前向きな子育てが可能になっている。母子ともに成長を実感し、それによって自分・表現できるような保護者支援を大切にしていきたい。

(注釈)

I 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をやるのかを示せるように、朝の身支度や遊びのスペースをパーテーションで区切るなど、子ども本人にわかりやすくすることです。

II 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは児童発達支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。

III 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

IV 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。